

高岡駅～新高岡駅
瑞龍寺、八丁道・前田公墓所 コース

約4.5km



高岡市では、ここに笑顔の毎月25日は「たかおか健康づくりの日」としています。
この日はご自身やご家族で、地域で、健康づくりに取り組みましょう。

みどころ

県内唯一の国宝瑞龍寺と利長公墓所を結ぶ八丁道には、灯籠と美しい白い石畳が続いている。また周辺には、ほうれん草畑が広がり「高岡ほうれん草」として有名です。

① 国宝 瑞龍寺

曹洞宗高岡山瑞龍寺は、加賀藩二代藩主前田利長公の菩提を弔うため三代藩主利常公によって建立された寺である。

利長公は、高岡に築城し、この地で亡くなった。加賀藩百二十万石を譲られた利常公は深く恩を感じ、七堂伽藍を完備した瑞龍寺を造営した。

利長公の五十回忌の寛文3年（1663年）まで約20年の歳月を要した。国宝として指定されているのは 山門、仏殿、法堂で、総門、禅堂、大庫裏、大茶堂、回廊三棟が、重要文化財に指定されている。

江戸初期の禅宗寺院建築として、高く評価されている。

毎年6月1日、7月1日に行われる「ひとつやいと」は全国的に有名である。



② 前田公墓所

瑞龍寺から東へ八丁道が真っすぐのび、その先に、加賀藩主前田利長公の墓所がある。

墓は1614年に53歳で生涯を閉じた利長公の33回忌にあたり、三代藩主利常公によって造営された。石塔の高さは約12mもの巨大な御廟であり、狩野探幽の下絵になると言う一花一葉の蓮華のレリーフが、130枚側面にびっしりと彫刻され、荘厳な印象を与える。

まわりを囲む堀や、土塁、石灯籠の配置等は、正方形区画を意図している。

③ 新高岡駅

平成27年3月14日に北陸新幹線が、東京駅から金沢駅まで開業した。

高岡～東京間は2時間21分になり、時間短縮はビジネス、観光へと発展し、また新高岡駅は、県西部をカバーする

だけではなく、能登、飛騨の交通機能も担った新幹線駅になった。

新駅の1階が改札口、2階がホームになり、ホームの長さは312m、12両編成の新幹線が停車可能である。

また、新幹線と交差するかたちで、JR城端線の新高岡駅が設置され、高岡駅と3分で結ぶ。バスは市街地へ、10分間隔で運行する。

